

# ルワンダの識字率向上に向けた活動とその展望

稲本遥\*1

指導教員：竹内一樹\*2・ドゥラゴ英理花\*2・三岡恵子\*2・草野昂志郎\*2

Email: kazuki\_takeuchi@shotoku.ed.jp

\*1: 聖徳学園中学・高等学校3年

\*2: 聖徳学園中学・高等学校

◎Key Words 持続可能な開発のための教育(ESD), 国際交流

## 1. はじめに

私は「聖徳学園と世界を繋ぐ」を目標に活動している校内のボランティア団体で副代表を勤めており、その活動の一環でルワンダのために募金を行ったことがあった。その際ルワンダの教育現状を聞き衝撃を受けたことがきっかけで、その大きな問題である識字率の低さに対する効果的なアプローチを考え、現地で実行する探究活動を行った。しかし現地に行ってみると調べた情報と齟齬が生じており、情報の選び方や、問題に飛びついて解決策を考える前に問題を噛み砕く必要があるとわかった。本論文では、探究内容、結果、自身の気づき・振り返り、今後の展望について述べる。

## 2. 本プロジェクトの概要

### 2.1 プロジェクトを始めるに当たって

まず私はSustainable Development Report というサイトを利用し、ルワンダのSDGs達成度が低い部分を探した。ルワンダではSDGs17個のうち12個が達成度が低く課題が残っている状況であったが、その中でSDGs4番の質の高い教育に着目した。現在ルワンダで質の高い教育が達成できていない大きな原因として、進級率が低いこと、識字率が68%と低いことがあげられる。world vision「ルワンダの教育を知る」によると「粗最終学年進級率とは、その年の最終学年の児童数から、前年度留年して最終学年に残っている児童数を除き、その学年に当たる年齢の人口で割った割合である。また、純粗最終学年進級率は、本来6年生になる年齢の児童で最終学年に進級した児童の数を、その学年に当たる年齢の人口で割った割合とされている。」分析すると、多くの児童が小学校の最終学年まで進級できている一方で、本来卒業すべき年齢で卒業する児童は約4人に1人しかいないと言える。つまり多くの児童が就学時期の遅れ、または留年を経験している現状である。その原因の一つとして、識

字率が低く文字の読み書きができないことがある。文字の読み書きができないと、そもそも学校に行っても何も理解できず授業についていけなくなり、進級せず学校を辞めるのだ。

表1 各校種別の粗就学率と純就学率

校種	粗就学率	純就学率
幼稚園	29.8%	24.8%
小学校	138.8%	98.5%
中学校	42.5%	24.5%

出典:world vision(2021.4)「ルワンダの教育を知る」

表2 ルワンダの小学校最終学年進級率

指標	進級率
粗最終学年進級率	95.4%
純粗最終学年進級率	27.5%

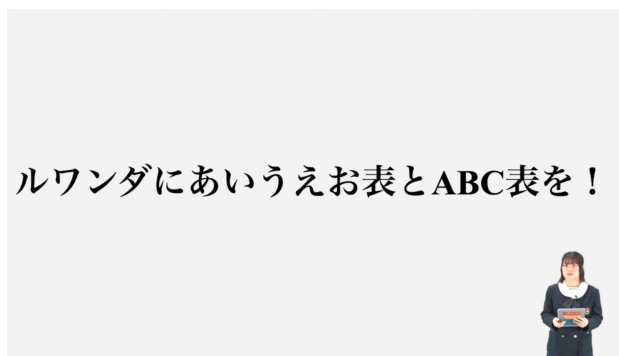
出典:world vision(2021.4)「ルワンダの教育を知る」

### 2.2 プロジェクト内容

以上を元に私は「ルワンダにあいいうえお表とABC表を！」という識字率向上のためのプロジェクトを計画した。ABC表はみんなでABCソングを歌いながら紙に書いていく。そうすることでルワンダの公用語である英語の基礎を身に付けることが

でき、文字の読み書きへの第一歩になると考えたからだ。あいうえお表は紙に母音と子音を書き、残りのますをみんなで考えて埋めていく。あいうえお表も実施する理由としては、少しでも言語や他国の文化に興味を持ってもらいたいと考えたからである。実施にあたり、自身の探究内容を「iteachers TV～教育ICTの実践者たち～」に出演しプレゼンテーションを行った。(図1)また、現地での実施にあたりアンケートを取ろうと考えた。現地にはデバイスがないため、口頭での調査を考えた。

図1 iteachers TV出演(2024年 3月6日)



### 2.3 結果

2024年3月20日～27日、ルワンダに実際に訪れて、幼稚園・小学校・中学校で実施した。幼稚園ではABCとあいうえおどちらも実施する予定であったが、実際教室に入るとABC表が貼ってあり既にABCを読み書きできる状況であったため、急遽あいうえおだけ実施した。小学校でも、ABCとあいうえおどちらも実施する予定であったが、ABCは読み書きできる状況であったため、あいうえおのみ実施した。中学校では予定通りあいうえおだけ実施した。また、プロジェクトを実施したG.S kamabareの生徒18人にアンケートを行った。アンケートの内容と結果は以下である。(図2)

一つめの質問では、その場にいた全員が楽しかったと手を挙げてくれた。二つめの質問では、83%がもっと色んな言語や文化を知りたいと感じてくれた。17%はいいえであった。

図2 現地の学校でのアンケート結果(n=18)

	yes	no
あいうえお表を作ったことで、もっと色んな言語や文化を知りたいと思いましたか Did making the AIUEO chart make you want to learn more about different languages and cultures?	100%	0%
あいうえお表を作ったことで、もっと色んな言語や文化を知りたいと思いましたか Did making the AIUEO chart make you want to learn more about different languages and cultures?	83%	17%

### 3.プロジェクトの課題と展望

アンケートの結果から、ルワンダの子供の意欲が高いことがわかった。尚且つ、様々な文化に興味を持っている子供の割合も高く、全体から見て学習意欲が高い子どもが多かった。これらの結果を受け、自分が目標とした識字率向上に向けた活動は成功したと言えるだろう。

しかしながら反省点として、アンケートの取り方をもっと工夫してより正確性をもったデータになるようにする必要があると感じた。また、質問内容もより具体的に工夫する必要があると感じた。また、事前に調べた情報と実際の現状は全く異なっており、情報の齟齬を実感した。「識字率が低く文字の読み書きができない」という現状であったため、ABCの読み書きもままならないのかと思いABC表を歌いながら作ることを提示した。しかし実際は、ABCの読み書きが可能であった。このことから、問題を知ってすぐに解決策に飛びつかず噛み砕くこと、情報を全て鵜呑みにせず専門家や現地の方に聞き適切な解決策かを模索する必要があると学んだ。

### 4.おわりに

ルワンダで実施した探究で、情報には齟齬が生じていること、アンケートの取り方など反省点から学ぶことがあった。また、今回の探究を通じて、世界に対する視野が広がり、将来に対する意識が変わった。将来は、これらで得た経験と知見を元に、国際系の学部に進学し、卒業後は発展途上国の子供への支援を行っていきたい。

### 謝辞

今回の探究にあたりご協力いただいた、ルワンダのG.S.kamabare学校の皆さん、静岡県マキノハラボ 浅野拳史さんに心から御礼を申し上げます。および、探究の指導、本稿を読み添削して下さった聖徳学園の先生方に特別の感謝を申し上げます。

### 参考文献

- (1) Sustainable Development Report 2023 <https://dashboards.sdgindex.org/> (2024年 6月27日参照)
- (2) ルワンダの教育を知る [https://www.worldvision.jp/children/education\\_13.html](https://www.worldvision.jp/children/education_13.html) (2024年 6月27日参照)